



# ハウデイス

(HOWnet EDI Service)

## 概要説明 (説明会資料)

初版 2019年 1月

協同組合ハウネット

# 目次

1. 目的（主旨）
2. 必要性（課題）
3. システム全体構成
4. 機能（サービス）紹介
5. 現行システムとの比較・変更点
6. 業務改善（ハウディス新機能）
7. まとめ

# 1. 目的

異なる環境（E D I・W e b）を統合し、多数の機能を備えたトータルクラウドサービスの実現。  
安心・安全・安定した業界標準インフラを構築し、加盟企業の業務改善・E D I化をサポートする多様なサービスを提供。

V A Nサービス

切替え

ハウディス

家庭用品 1991年～  
食品軽包装 1997年～

家庭／食品 2019年10月～

- ① E D Iサービス
- ② W e b-E D Iサービス
- ③ J C A／全銀 T C P I P

27年  
経過

- ① システム運用環境の強化
- ② 公衆回線網サービス停止対応
- ③ 軽減税率・インボイス対応
- ④ 新フォーマット採用
- ⑤ 機能追加
- ⑥ J X／インターネット全銀TCPIP対応

## 2. 必要性

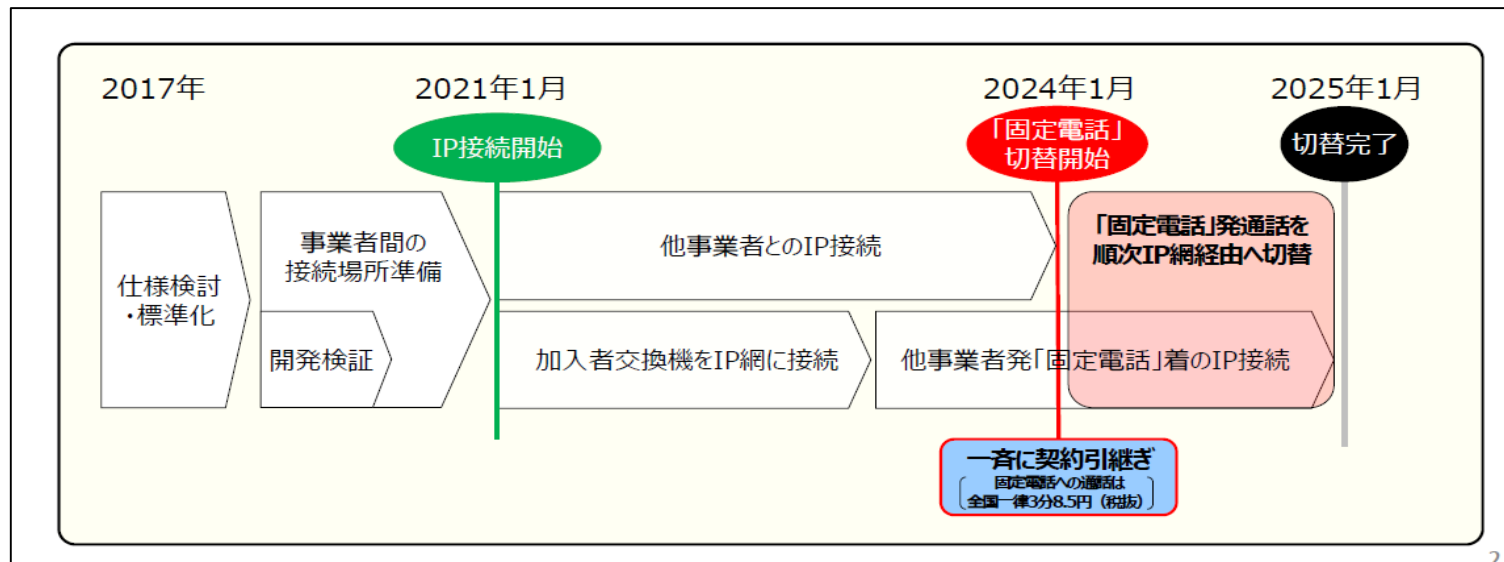
- 2. 1 公衆回線のサービス停止
- 2. 2 軽減税率対応
- 2. 3 インボイス対応
- 2. 4 システム基盤強化・改善

## 2. 必要性

### 2. 1 公衆回線のサービス停止

(NTT東日本記載ページ [http://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20171017\\_01.html](http://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20171017_01.html) )

- 2024年1月より切替え開始、2025年1月終了
  - ⇒ I S D N回線から光回線化
- J C A手順／全銀 T C P I P手順の利用不可
  - ⇒ J X手順／インターネット全銀 T C P I P手順への切替え



※.NTT東日本記載ページより引用

## 2. 必要性

### 2. 2 軽減税率対応

(財務省記載ページ [https://www.mof.go.jp/tax\\_policy/summary/consumption/d02.htm](https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d02.htm) )

➤ 2019年10月より複数税率化 (10%・8%)

### 2. 3 インボイス (適格請求書保存) 対応

➤ 2023年10月より税率と税率ごとの消費税額表示

適格請求書等保存方式の導入			
請求書等	【請求書等保存方式】 (現行制度)	【区分記載請求書等保存方式】 (平成31年(2019年)10月~)	【適格請求書等保存方式】 (平成35年(2023年)10月~)
	<p>○ 請求書の記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書発行者の氏名又は名称</li> <li>取引年月日</li> <li>取引の内容</li> <li>対価の額(税込)</li> <li>請求書受領者の氏名又は名称</li> </ul> <p>請求書</p> <p>〇〇組合 11月分 21,600円(税込) 11/1~30 牛肉2kg 5,400円</p> <p>合計 21,600円</p> <p>△△(株)</p> <p>請求書(控)</p> <p>□□株式会社 11月分 43,200円(税込) 11/1~30 牛肉2kg 10,800円</p> <p>合計 43,200円</p> <p>〇〇(株)</p>	<p>同左プラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>軽減税率の対象品目である旨</li> <li>税率ごとに合計した対価の額(税込) (注) 請求書の交付を受けた事業者による追記も可</li> </ul> <p>請求書</p> <p>〇〇聖中 11月分 21,800円(税込) 11/1 牛肉2kg 5,400円 11/8 割りばし4箱 5,900円</p> <p>合計 21,800円</p> <p>△△(株)</p> <p>請求書(控)</p> <p>□□聖中 11月分 43,600円(税込) 11/5 牛肉2kg 5,400円 11/9 割りばし4箱 6,600円</p> <p>合計 43,600円</p> <p>〇〇(株)</p>	<p>同左プラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録番号</li> <li>税率ごとの消費税額及び適用税率 (注) 「税率ごとに合計した対価の額」は、税抜又は税込</li> </ul> <p>請求書</p> <p>〇〇組合 11月分 20,000円(本体) 11/1 牛肉2kg 5,000円 11/8 割りばし4箱 5,000円</p> <p>合計 20,000円 消費税 1,800円</p> <p>△△(株)</p> <p>請求書(控)</p> <p>□□株式会社 11月分 40,000円(本体) 11/5 牛肉2kg 5,000円 11/9 割りばし4箱 6,000円</p> <p>合計 40,000円 消費税 3,600円</p> <p>〇〇(株)</p>
	<p>○ 交付義務なし・不正交付の罰則なし</p> <p>○ 免税事業者も交付可 ⇒免税事業者からの仕入税額控除可</p>	<p>同左</p> <p>同左</p>	<p>○ 交付義務あり・不正交付の罰則あり</p> <p>○ 登録を受けた課税事業者のみ交付可 ⇒免税事業者からの仕入税額控除不可</p> <p>○ 免税事業者からの仕入れについて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間: 80%</li> <li>・その後3年間: 50%</li> </ul> <p>の仕入税額控除可。</p>
※	○ 取引総額からの「割戻し計算」	○ 税率ごとの取引総額からの「割戻し計算」	○ 税率ごとの取引総額からの「割戻し計算」(いづれかの方法に)

※.財務省記載ページより引用



## 2. 必要性

### 2. 4 システム基盤改善・強化

- メインフレーム（汎用機）からオープンフレーム（サーバー系）への移行  
⇒ 最新技術の対応、運用コスト削減
- 災害等の対策  
⇒ ディザスタリカバリ対応（ハード環境の冗長化と遠隔地化）

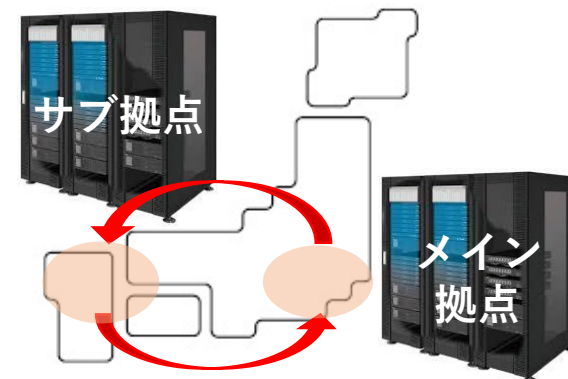
※.ディザスタリカバリ：DR（Disaster Recovery）とは、災害復旧対策のこと。

#### 【既存システム】



機器の冗長化

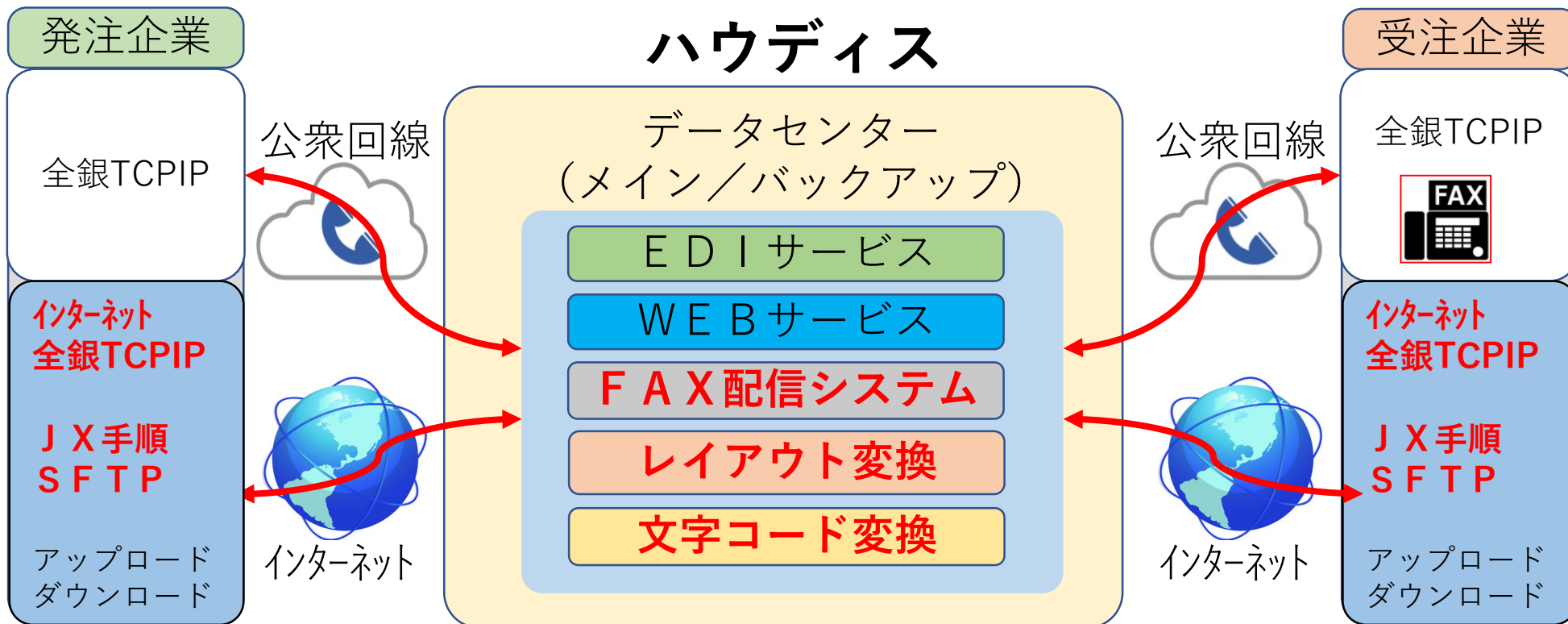
#### 【新システム】



機器の冗長化 + **災害対策**

\*. ハード環境は**遠隔地**に設置。

### 3. システム全体構成



#### 障害（災害）対応

センター設備はメインとバックアップの遠隔地2拠点に設置され、データは即座にバックアップセンターへ反映されます。  
障害が発生し、30分で復旧見込みがない場合は、バックアップセンターに切り替えられます。



## 4. 機能（サービス）紹介

発注企業		データ種		受注機能
発注	⇒	発注データ	⇒	受注
納期確認	⇐	納期回答データ	⇐	納期回答
出庫確認	⇐	出庫確定データ	⇐	出庫確定
入庫（受領）	⇒	入庫データ	⇒	受領確認
売上確認	⇐	売上データ	⇐	売上計上
仕入計上	⇒	仕入データ	⇒	仕入確認
請求確認	⇐	請求データ	⇐	請求計上
支払計上	⇒	支払データ	⇒	支払確認
請求支払照合	⇔	※ 照合データ	⇔	請求支払照合
値引	⇔	※ 値引データ	⇔	値引
商品情報	⇐	商品データ	⇐	商品情報
在庫情報	⇔	在庫データ	⇔	在庫情報
販売実績	⇒	※販売実績データ	⇒	販売実績
集配信状況照会	⇐	集配信ログ	⇒	集配状況照会

## 5. 現行システムとの比較・変更点

- 5. 1 レコード構成の変更
- 5. 2 可変長対応
- 5. 3 全角・半角の混在使用の対応
- 5. 4 データ項目の追加と拡張

## 5. 現行システムとの比較・変更点

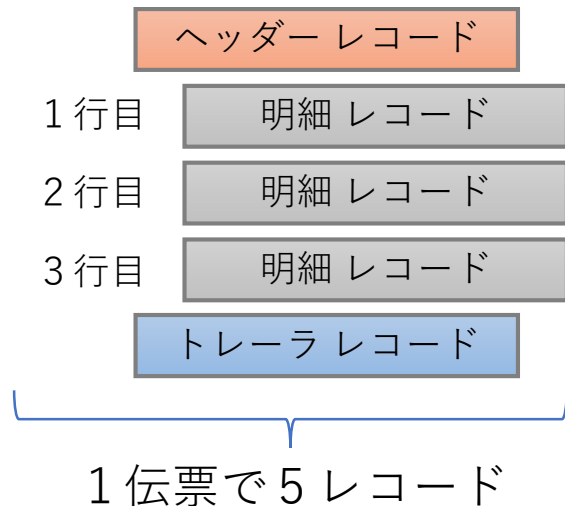
### 5. 1 レコード構造の変更

- EDI伝送レイアウトの単純化  
マルチ形式（伝票形式）からフラット形式（単一形式）

#### ※. 1伝票で3明細の場合

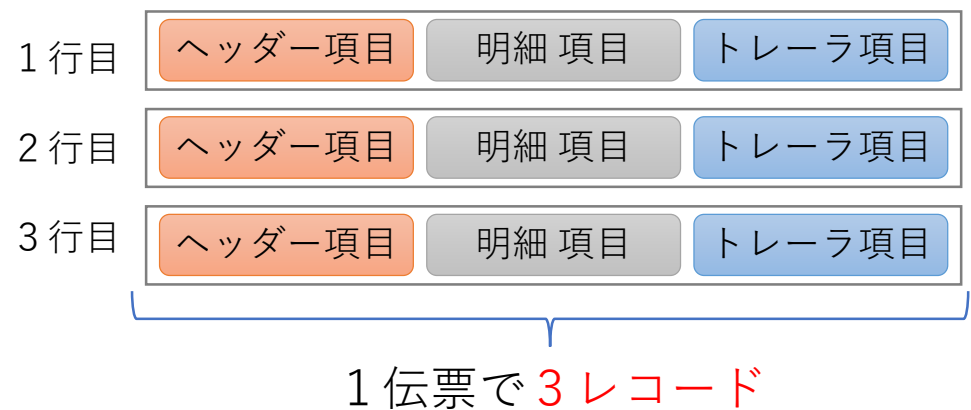
##### 【既存システム】

構造化（伝票形式）



##### 【ハウディス】

フラット化（単一形式）



## 5. 現行システムとの比較・変更点

### 5. 2 可変長対応

- EDI 伝送レイアウトの可変長対応  
可変長レコード・可変長項目に対応

※.アップロード・ダウンロードのみ対象

#### 【既存システム】

固定長 レコードサイズ 128バイト (各項目の長さも固定)

1レコード目:	項目1 2バイト	項目2 7バイト	項目3 2バイト	項目4 5バイト	項目5 2バイト	.....	項目n 90バイト
}	項目1 2バイト	項目2 7バイト	項目3 2バイト	項目4 5バイト	項目5 2バイト	.....	項目99 90バイト
nレコード目:	項目1 2バイト	項目2 7バイト	項目3 2バイト	項目4 5バイト	項目5 2バイト	.....	項目99 90バイト



#### 【ハウディス】

可変長 レコードサイズ **最大サイズ指定 (各項目の長さも最大文字数指定)**

1レコード目:	項目1 最大2バイト	項目2 最大7バイト	項目3 最大2バイト	項目4 最大5バイト	項目5 最大2バイト	.....	項目n 最大90バイト
}	項目1 最大2バイト	項目2 最大7バイト	項目3 最大2バイト	項目4 最大5バイト	項目5 最大2バイト	.....	項目99 最大90バイト
nレコード目:	項目1 最大2バイト	項目2 最大7バイト	項目3 最大2バイト	項目4 最大5バイト	項目5 最大2バイト	.....	項目99 最大90バイト



## 5. 現行システムとの比較・変更点

### 5. 4 データ項目の追加と拡張

➤ 桁数の拡張

例、自社商品コード      半角 13文字 ⇒ 20文字

➤ 項目追加

例、JANコード      JANコードの標準化推進

#### [桁拡張]

- ・ 自社商品コード
  - ・ 商品名称
  - ・ 届け先名称
- など

半角 13文字 ⇒ 20文字

漢字 20文字 ⇒ 30文字

漢字 20文字 ⇒ 40文字

#### [項目追加]

- ・ JANコード
  - ・ 税率
  - ・ 消費税額
- など

JANコードの標準化推進

複数税率・インボイス方式対応

複数税率・インボイス方式対応

## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 1 ワンストップオペレーション

6. 1. 1 発注編

6. 1. 2 請求編

### 6. 2 商品情報共有と利用方法

### 6. 3 業務負担軽減と情報共有

6. 3. 1 オーダーリスト発注

6. 3. 2 カート発注

6. 3. 3 納期回答

6. 3. 4 出庫確定と入庫（受領）

### 6. 4 データ連携の容易性と開発工数削減

6. 4. 1 商品コード変換（紐づけ）機能

6. 4. 2 文字コード変換機能

6. 4. 3 レイアウト変換（マッピング）機能

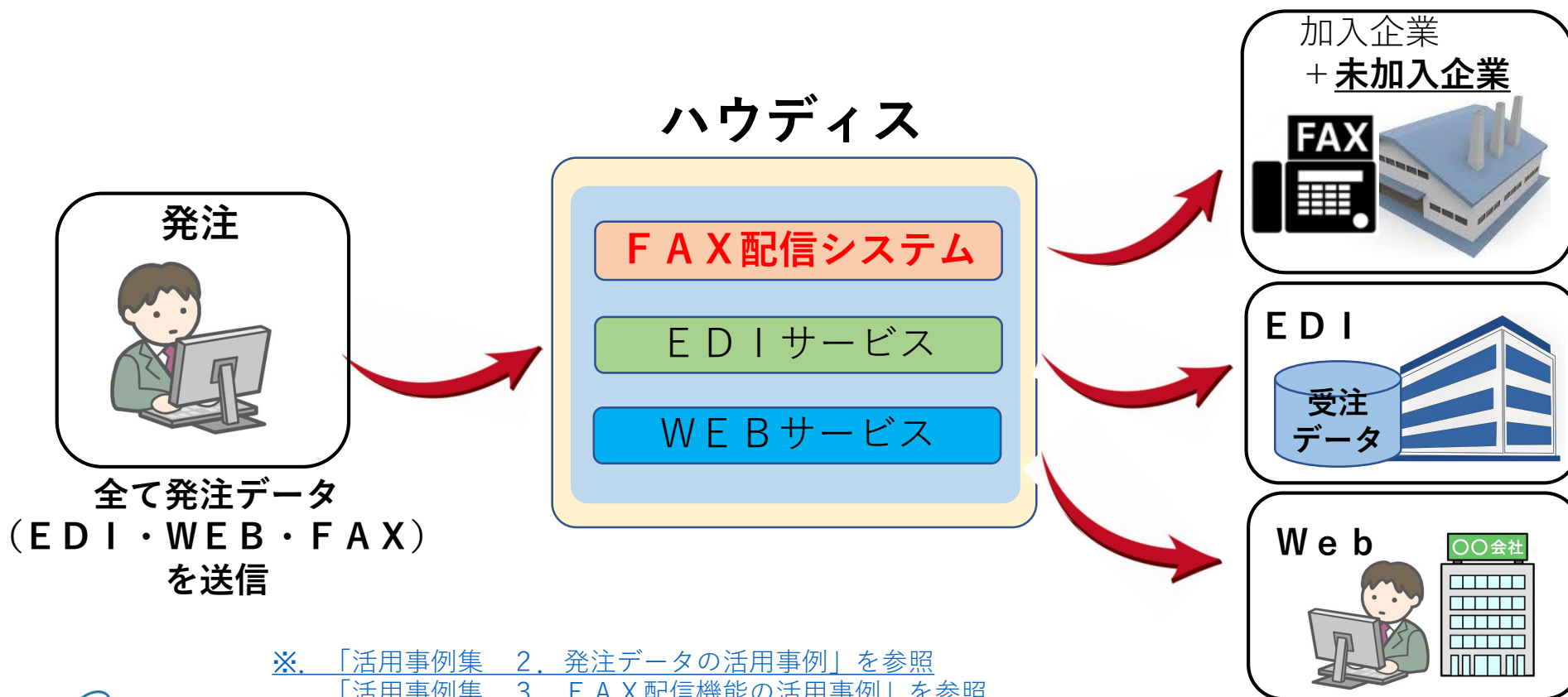


## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 1 ワンストップオペレーション

#### 6. 1. 1 発注編

- E D I 発注・W e b 発注・F A X 発注の振分け無く、全ての発注データをハウディスに一括送信



※. [「活用事例集 2. 発注データの活用事例」](#)を参照  
[「活用事例集 3. F A X 配信機能の活用事例」](#)を参照



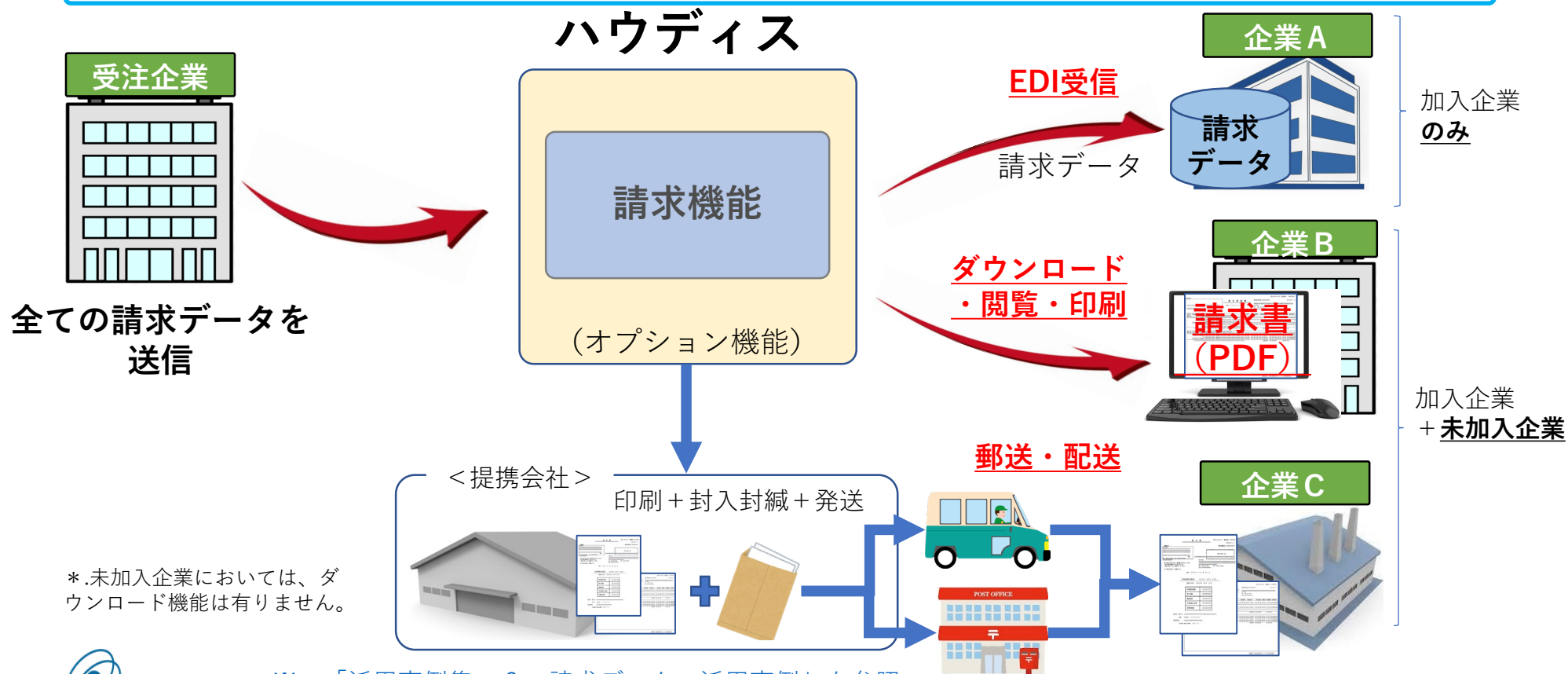


## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 1 ワンストップオペレーション

#### 6. 1. 2 請求編

- 請求書の印刷・仕分・発送作業を請求データとしてハウディスに一括送信





# 6. 業務改善（ハウディス新機能）

## 6. 3 業務負荷軽減と情報共有

### 6. 3. 1 オーダーリスト発注機能

➤ オーダーリスト発注で発注入力を簡略化

## ハウディス

### オーダーリスト発注機能



商品を選択して  
数量入力のみ



※ 「活用事例集 9. オーダーリスト発注/カート発注の活用事例」を参照

## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 3 業務負荷軽減と情報共有

#### 6. 3. 2 カート発注機能

- カート発注で商品一覧（カタログ）から商品検索し、そのまま発注

※.検索できる商品は商品情報を提供していただいているメーカーの商品のみとなります。

## ハウディス カート発注機能



商品を検索選択し  
て数量入力のみ

※.「活用事例集 9. オーダーリスト発注／カート発注の活用事例」を参照



## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 3 業務負荷軽減と情報共有

#### 6. 3. 3 納期回答

- 行き違いなどのヒューマンエラーの防止、情報の共有、問合せ対応業務の負荷軽減（効率化）



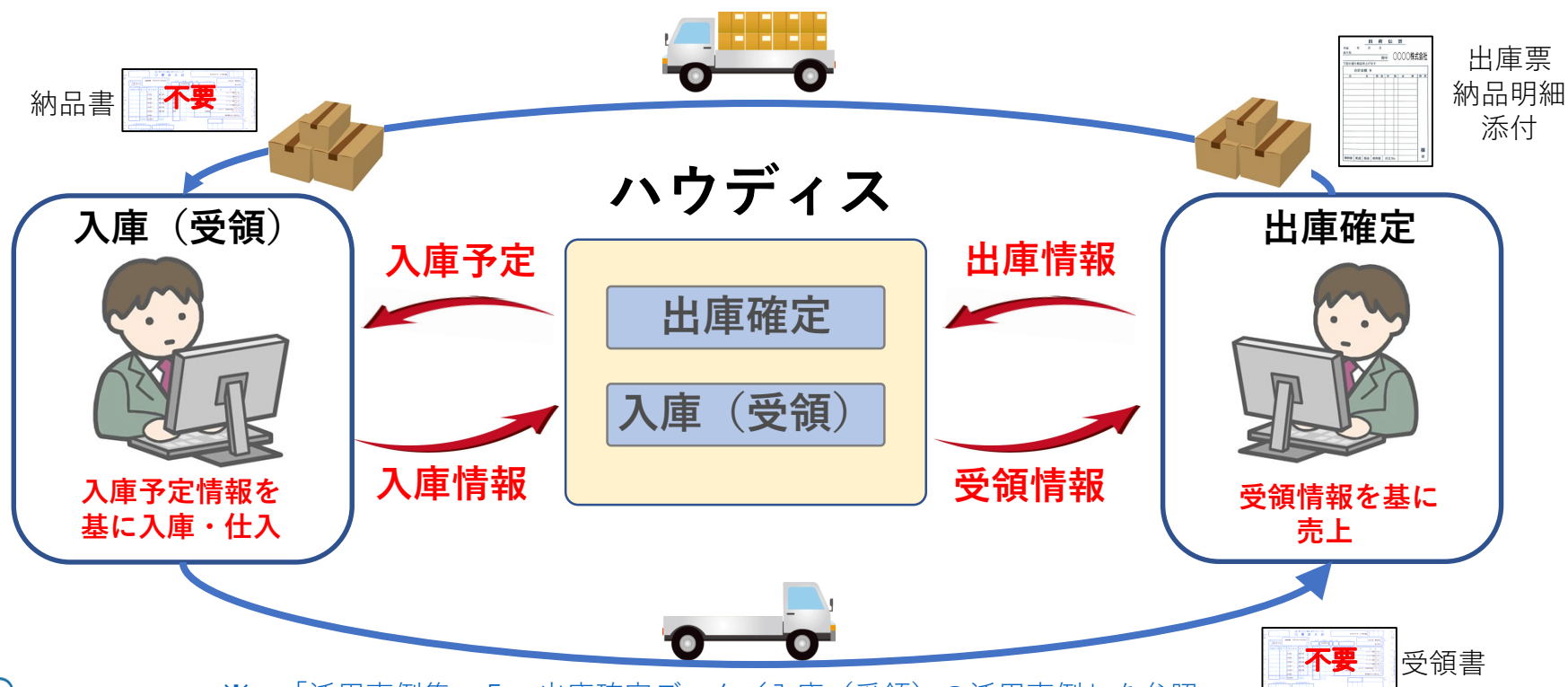
※. 「活用事例集 4. 納期回答データの活用事例」を参照

## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 3 業務負荷軽減と情報共有

#### 6. 3. 4 出庫確定と入庫（受領）

- 出庫・入庫の情報交換を行う事で伝票レス運用可能となる、さらに精度が向上すれば照合・計上も可能



※. 「活用事例集 5. 出庫確定データ／入庫（受領）の活用事例」を参照

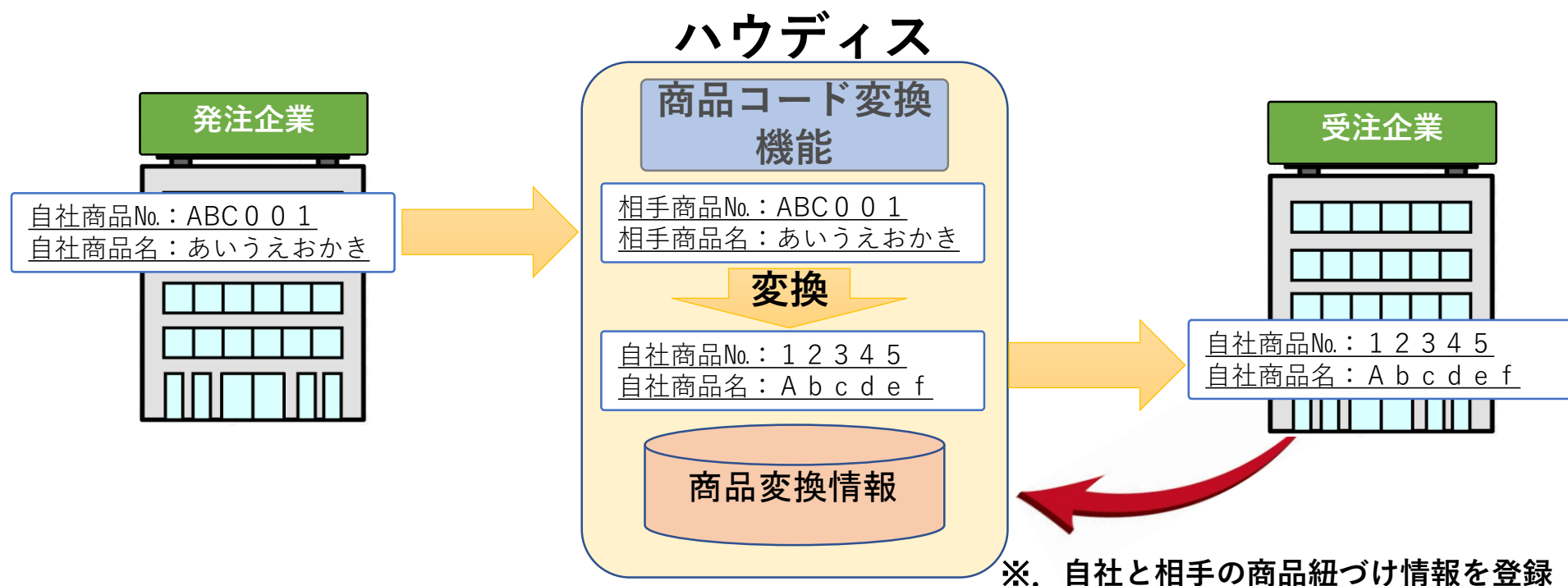


## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 4 データ連携の容易性と開発工数削減

#### 6. 4. 1 商品コード変換（紐づけ）機能

- 相手先商品コードを自社商品コードに変換
- 取引企業間で商品紐づけ情報の共有化

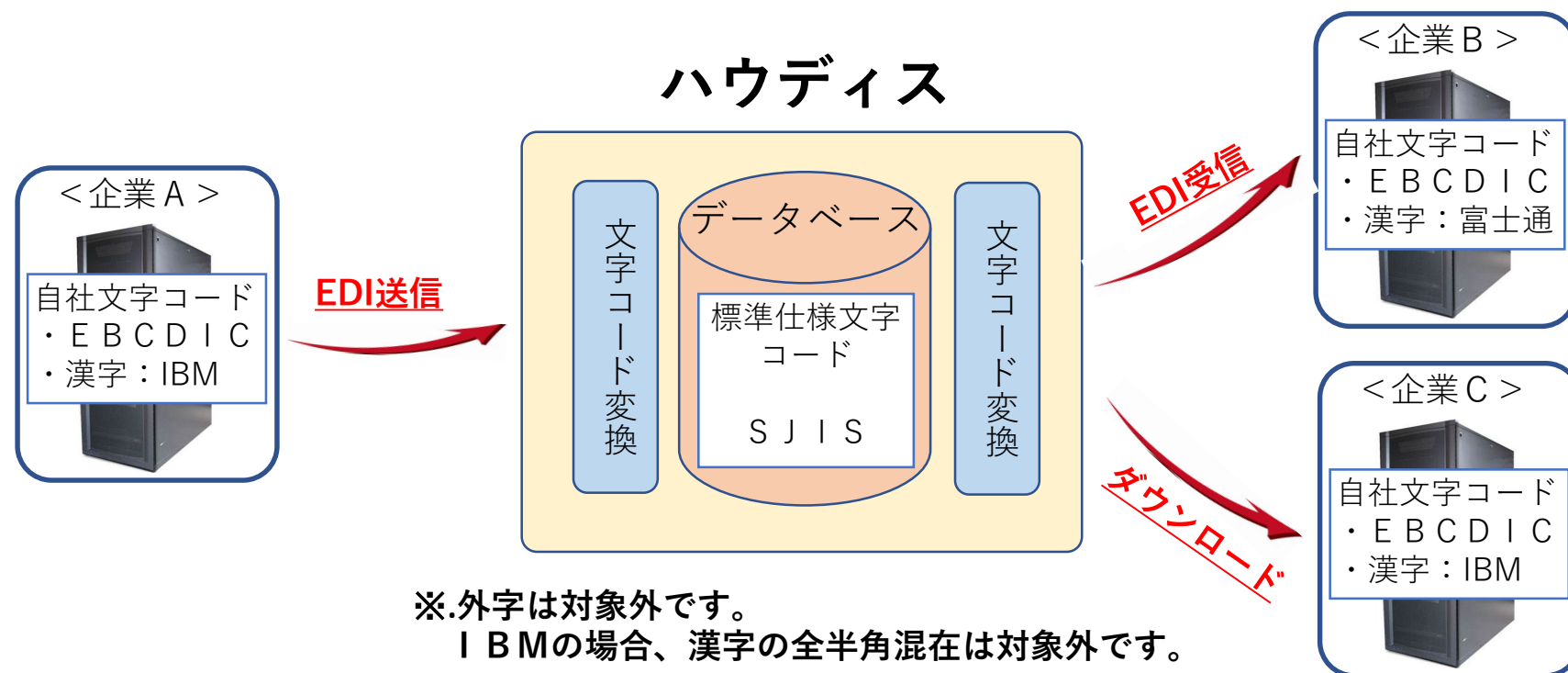


## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 4 データ連携の容易性と開発工数削減

#### 6. 4. 2 文字コード変換機能

- 従来、自社で行っていた自社文字コードへの変換をハウディス内に機能として装備





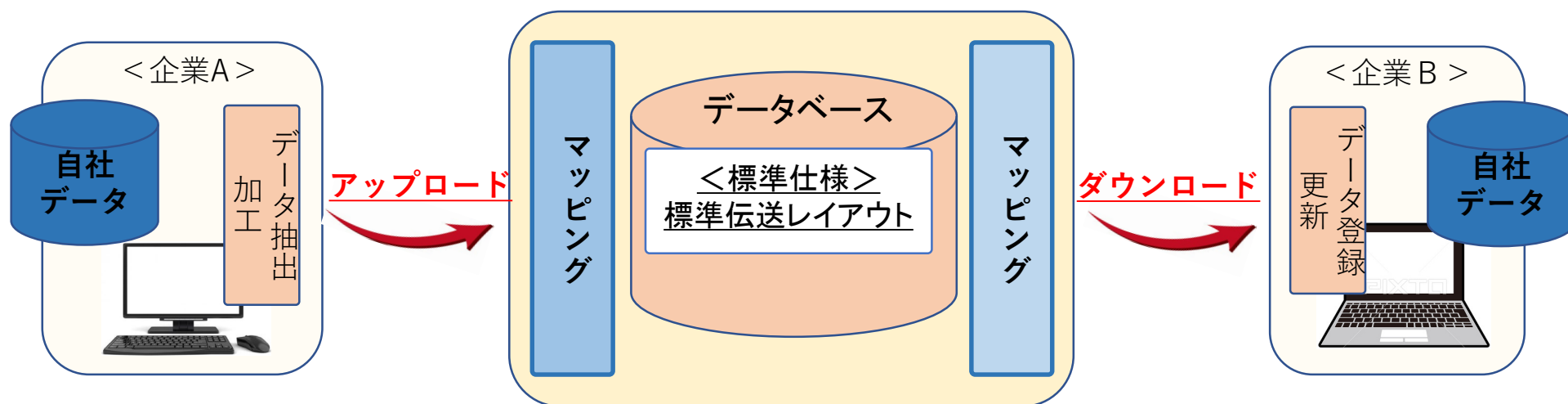
## 6. 業務改善（ハウディス新機能）

### 6. 4 データ連携の容易性と開発工数削減

#### 6. 4. 3 レイアウト変換（マッピング）機能

- 従来、自社で行っていたハウディス標準伝送レイアウトへの変換をハウディス内に機能として装備

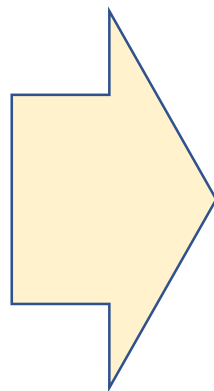
### ハウディス



※.マッピング機能（レイアウト変換）は項目の並び換えを行う機能のため、必要な項目のセットは加入企業で行う（データ抽出加工・登録更新）必要があります。

## 7. まとめ

様々なシステム改善と業務改善により、**導入費（開発費用）の軽減、月額利用費の軽減、業務負担の軽減**し、**E D I 化の実現**をサポートします。



# 資料一覧

- [導入手引書](#)  
導入検討から本稼働までの作業についての説明書
- [運用手引書](#)  
運用に関わる内容（環境・体制・障害など）の説明書
- [機能説明書](#)  
各機能（データ種）別の管理者用機能詳細説明書
- 操作説明書  
各機能別の画面操作説明書
- [活用事例集](#)  
各機能の活用事例をbefore・afterで説明した管理者用事例集
- [EDI 伝送レイアウト](#)
- [項目説明書](#)
- 利用料金表